

GPサンダーサイザル・成分表、安全シート

柳瀬株式会社
兵庫県丹波市山南町谷川1385
TEL: 0795-77-2151
作成日: 2006年4月17日
変更日: 2023年9月7日
整理番号: MSDS-Z175



危険有害性の要約

危険性: 危険性は極めて低い。
有害性: 研磨作業中に発生する粉じんは眼、皮膚を刺激することがある。
研磨作業中に発生する粉じんを吸入すると健康障害を起こすことがある。
環境影響: 研磨作業中に粉じんが発生するので作業環境を汚染する恐れがある。

[GHS分類] (構成純物質について)

別表参照

[GHSラベル要素] (構成純物質について)

別表参照

注意書き

予防策、応急措置、保管、廃棄については下記を参照。

研磨布成分 (構成1)

物質の特定	成分	含有量 (%)
	綿	100 %
	サイザル麻	100 %
	その他 (マシン油、サイジング剤、縫い糸)	—

(ネジ部) (構成2)

物質の特定	単一製品・混合物の区分 : 単一製品	
	成分	プラスチック 真鍮
危険性情報	発火点	適用しない。
	加熱性	適用しない。
	発火性	適用しない。
	酸化性	適用しない。
	自己反応性・爆発性	適用しない。
	粉塵爆発性	適用しない。
	安定性・反応性	適用しない。

接着剤（構成3）

物質の特定	単一製品・混合物の区分 : 混合物	
	化学名	エポキシ樹脂系二液型接着剤
	成分	ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂
	化審法番号	7-1283他
	CAS番号	25068-38-6他
危険有害性の分類	分類の名称	その他の有害物質
	危険性	可燃性液体（危険物第四類第四石油類）
	有害性	吸入したり皮膚に触れたりすると、中毒やかぶれを起こす恐れがある。
危険性情報	引火点	206℃
	安定性	通常の条件では、安定
	反応性	硬化剤とはかなりの発熱を伴って反応する。急激な硬化、一度に多量の硬化は、時には有害な煙、蒸発物を伴い反応物の炭化・分解を生ずることがある。
主な適用法規	消防法	危険物第四類第四石油類
	海洋汚染防止法	B類物質
	労働安全衛生法	変異原性物質
	PRTR法	第1種指定化学物質（No.30 ビスフェノールA型エポキシ樹脂：97%）

GPサンダーサイザル（完成品）

危険・有害性の分類	分類の名称 : 分類基準に該当しない。 危険性 : なし 有害性 : 研磨作業中に発生する粉塵は、眼・呼吸器系を刺激することがある。皮膚を刺激することがある。
応急措置	眼に入った場合 多量の水で直ちに眼を洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。 皮膚に付いた場合 汚染部位を石鹸と水で洗う。 吸入した場合 徴候や症状がでた場合は、新鮮な空気のところへ患者を移動させる。 徴候や症状が持続する場合は、医師の手当を受ける。 飲み込んだ場合 適用しない。 応急処置に関する特記事項 応急処置はすべて切断又は研磨作業中に発生する粉塵によるものです。

<p>火災時の処置</p>	<p>消火方法 ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用のこと。</p> <p>消火剤 水・二酸化炭素・粉末消火薬剤・泡消火剤</p> <p>火災時の処置に関する特記事項 適用しない。</p>															
<p>暴露防止措置</p>	<p>管理濃度・許容濃度</p> <table border="1" data-bbox="448 479 1473 719"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>管理濃度</th> <th>許容濃度 TLV-TWA (注2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酸化アルミニウム</td> <td>設定されていない</td> <td>1mg/m³</td> </tr> <tr> <td>ステアリン酸カルシウム</td> <td>設定されていない</td> <td>設定されていない</td> </tr> <tr> <td>樹脂硬化物</td> <td>設定されていない</td> <td>設定されていない</td> </tr> <tr> <td>基材 (ナイロン)</td> <td>設定されていない</td> <td>設定されていない</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注2) 許容濃度はACGIHを参考にした数値である。 (気中有害物単独の平均労働日の平均暴露濃度)</p> <p>設備対策： 粉じん対策として集じん装置を設けること又は必要に応じて全体排気をすること。 集じん装置は発生する火花を吸収し火災になる恐れがあるので直接火花を吸収しない対策をすること。</p> <p>保護具： 作業者は次の保護具を着用すること。</p> <p>呼吸器の保護具： 粉じんの濃度及び法規制に基づいた検定済みの半面又は全面フィルター付きの防じんマスク。</p> <p>手の保護具： 耐火花性のある手袋</p> <p>目の保護具： サイドシール付の安全眼鏡または、完全防護形の防じん眼鏡。</p> <p>保護衣： 研磨作業中に発生する粉じんと皮膚との接触を避けられるもの。</p>	名称	管理濃度	許容濃度 TLV-TWA (注2)	酸化アルミニウム	設定されていない	1mg/m ³	ステアリン酸カルシウム	設定されていない	設定されていない	樹脂硬化物	設定されていない	設定されていない	基材 (ナイロン)	設定されていない	設定されていない
名称	管理濃度	許容濃度 TLV-TWA (注2)														
酸化アルミニウム	設定されていない	1mg/m ³														
ステアリン酸カルシウム	設定されていない	設定されていない														
樹脂硬化物	設定されていない	設定されていない														
基材 (ナイロン)	設定されていない	設定されていない														
<p>物理/化学的性質</p>	<p>外観等： 砥粒を織布に接着し、硬化して接着された研磨工具。</p> <p>沸点/範囲： 適用しない</p> <p>融点/範囲： 適用しない</p> <p>蒸気圧： 適用しない</p> <p>水溶性： 適用しない</p> <p>比重： 適用しない</p> <p>蒸気密度： 適用しない</p> <p>蒸気濃度： 適用しない</p> <p>pH： 適用しない</p> <p>粘度： 適用しない</p>															

危険性情報	<p>引火点 : 適用しない</p> <p>燃焼範囲一下限 (%) : 適用しない</p> <p>燃焼範囲一上限 (%) : 適用しない</p> <p>発火点 : 適用しない</p> <p>避けるべき物質 : 適用しない</p> <p>有害な分解物 : 通常の使用条件においては、有害な分解物の発生は予想されない。しかしながら、火焰または極端な過熱により次の分解物を放出することがある。 一酸化炭素・二酸化炭素・窒素酸化物・シアン化物・ホルムアルデヒド</p> <p>安定性・反応性 : 安定。危険な重合は起こらない。</p>
有害性情報	<p>眼に入った場合 本品を正常に使用している場合に、眼に入ることは予想されない。 眼の機械的刺激 : 症状は刺激、発赤、角膜の傷、催涙を含むことがある。 切断、研磨又は機械加工によって発生する粉塵は眼を刺激することがある。</p> <p>皮膚に付いた場合 皮膚に付いた場合の健康障害は予想されない。 機械的な皮膚刺激 : 症状はかゆみ、発赤を含むことがある。</p> <p>吸入した場合 吸入した場合の健康障害は予想されない。 切断、研磨又は機械加工によって発生する粉塵は呼吸器系を刺激することがある。</p> <p>飲み込んだ場合 本品は、摂取される可能性は少ない。</p> <p>その他有害性情報 本品は、適切な条件又は当社の使用方法に従って使用する場合は、危険有害性はない。しかし、本品の取扱説明書に従わないで使用する場合は、製品の性能に影響を与え、危険有害性を起こす可能性がある。</p>
適用法令	<p>労働安全衛生法</p> <p>粉塵障害防止規則</p>
その他	<p>記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。</p> <p>また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。</p>

構成純物質のGHS分類

○印が該当する物質	○
	酸化アルミニウム

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外

可燃性固体	区分外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発熱性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	区分外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない


健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分外
生殖毒性	区分できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(吸入:肺)
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	呼吸器への刺激のおそれ 長期又は反復ばく露吸入による肺の障害